

病理解剖をお受けになった患者さんのご遺族の方へ

(1) 研究の概要について

当センター腎臓内科では「剖検例における加齢による腎の形態学的変化と腎機能低下に関する研究」を実施しております。

超高齢社会を迎え、慢性腎臓病は増加の一途を辿っており、高齢者の腎機能や腎病理組織を評価する機会も増えております。高齢者の腎組織においては、加齢の要素を加味しながら病変の評価をする必要がありますが、老化にともないどのように腎組織変化するかについては十分に知られていません。腎重量、大きさや腎組織など形態を調べさせていただき、生前の腎機能など臨床データとの関連性を明らかにしていきます。

2000年から2024年3月までに東京都健康長寿医療センター（旧 東京都老人医療センター）で病理解剖された方が研究の対象となります。

この研究への協力承諾の撤回を希望される場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「剖検例における加齢による腎の形態学的変化と腎機能低下に関する研究」

研究期間：承認後～2027年3月31日

研究責任者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター腎臓内科・透析科

岡 雅俊、武井 卓

(2) 研究の意義・目的について

加齢に伴い腎重量の減少、腎皮質量の減少、腎表面の凹凸不整、嚢胞の増加が腎超音波検査やCT検査では認められていますが、病理解剖にて実際の腎臓を評価し加齢や腎機能、疾患との関連性を明らかにしていくのが目的です。

(3) 研究の方法について

病理解剖にて腎重量、大きさ、嚢胞数などの形態と腎組織（糸球体の大きさや硬化、動脈硬化など）を評価し、生前の臨床データ（年齢、性、身体所見、腎機能、既往歴など）との関連性を調べます。

(4) 資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお、研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後、5年

間保管します。保管責任者は研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センターの所定の場所で、厳重に保管します。

(5) 資料の入手または閲覧、開示

本研究の計画や方法についてはご遺族の希望に応じて、資料の要求または閲覧ができます。本研究の結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者とその旨をお伝え頂ければ、他の研究者に不利益が及ばない範囲で、研究結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

(6) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター腎臓内科・透析科 岡 雅俊、武井卓
〒 173 0015 東京都板橋区栄町 35 2
電話 03 3964 1141 内線 2412 (平日 9:00 17:00)